

ベトナム人 EPA看護師候補者 受入れ事例

公益財団法人ときわ会
常磐病院

施設概要

公益財団法人ときわ会

じょうばん
常磐病院



■ 福島県いわき市に位置

■ 病床数

一般病棟：180床

療養病棟：60床

透析センター：153床

■ 診療科目

腎臓内科	人工透析内科	泌尿器科
内科	血液内科	循環器内科
糖尿病内科	リウマチ・膠原病科	小児科
外科	乳腺外科	婦人科
麻酔科	消化器内科	消化器外科
内視鏡外科	整形外科	救急科

受入れ状況

施設		常磐病院	小名浜ときわ苑	仮設 榎葉ときわ苑		
国籍		ベトナム	インドネシア	中国		
在留資格別 在籍数	EPA (特定活動)	看護師 候補者	4名	介護福祉士 候補者	3名	—
		看護師	9名	—	—	—
	その他	医療	1名	介護	2名	特定技能
離職		6名	2名	2名		

■ 常磐病院EPAの男女比

候補者・・・男3名：女1名

看護師・・・男3名：女6名

受入れ・合格実績

入職年度	合格年度	合格者数
2015	2018	1
2016	2017	1
2017	2018	1
2018	2018	2
	2019	1
2019	2020	1
	2021	1
2020	2021	2
	2022	1
2021	2022	3
2022	2022	1
2023	新規候補者なし	

■ほとんどの候補者が2年目で合格

■合格後の在職年数

現在在籍中の看護師：6年～1年

退職者平均：約3年

※国家試験合格前の退職：1名



候補者の学習の様子



看護師の制服を着る合格者

受入れ体制・支援業務

常磐病院

看護部

学習支援

- 国家試験対策
- 実習・講義管理
など

事務部

生活支援

- 環境管理・手続き
- 日本語指導
など



外部との交流、研究協力等も

- 学習面・生活面で各1名が主担当としてEPAを支援
- 必要に応じ、部署間で連携、本部との相談を行う
- 自主性を尊重し介入を控えながらも、就労継続しやすい環境の提供を心がける

EPA候補者受入れのメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">● 「医療」の在留資格に比べ、採用しやすい*● 「医療」と異なり、転職されない● 早期合格できれば、看護師採用時の紹介料より初期費用を安くできる	<ul style="list-style-type: none">● 業務量が増える →ノウハウ蓄積による効率化● 合格が遅ければ支援費用が増える →長期就労してもらえよう対応● 学習時間を増やせば早期合格が望めるが、現場の勤務時間は短くなる →勤務バランス、適切な指導

■EPA制度に限らず、国際貢献や送出し国の医療機関との連携も外国人雇用のメリット

*在留外国人数3,223,858人（R5年）に対し、「医療」は2,564人

ベトナム人受入れのメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">● 勤勉● 学習の習慣	<ul style="list-style-type: none">● 日本語や英語が不得手● 給与への不満が聞かれる

- 家族を大切にする国民性や笑顔の多い彼らからは学ぶことも多い
ベトナム料理を楽しめる機会も



注意点

■日本語指導に労力をかけても、話せるようになるとは限らない

- 外国語習得はそもそも難易度が高いもの
- 選任日本語講師と生活支援担当の兼任の指導で、効果の違いはなかった
→指導方法・指導時間・テキストの問題ではない

一方的に教えるだけでは流暢にならない。
本人が自らが考え、実際に会話すべき

一朝一夕では上達しない

内的動機付け
が必要

言語習得の
困難さ

日本語が流暢でなくても
給与は約束されている

発音や音の聞分けなどは、特に成人の場合、
どれだけ学習しても身に付かない可能性が

「上手になりたい」「授業を受けたい」
とは口にするが、自分での練習は敬遠

- ## ■ [わかる・できる→楽しい→学習を続ける] のサイクルができていれば、指導しなくても、自ずと上達していく

1. 国家試験対策

看護師国家試験合格が第1目標

〔実施内容〕

- 全領域の講義
- 月に1回の模擬試験の設定
- 模擬試験結果の把握と分析

2. 実習支援

看護補助者としての業務支援

〔実施内容〕

- 病院の特徴を理解してもらう
- 看護師として働く事をイメージ
- スタッフの一員として意識してもらう

1. 国家試験対策

< 候補者の入職年数と学習時間 >

* 2023年度

	試験～10月	11月～試験
1年目	約4時間	8時間 * 休憩45分
2年目	約4時間	
3年目	約2時間	
4年目	時間確保なし (院内実習のみ)	

学習時間は「日本語の授業」を含む。

1. 国家試験対策

候補者の学習指導

< 主な業務① >

1. 教材の準備	<ul style="list-style-type: none">• 問題集の購入（毎年候補者全員配布）• 個人の苦手分野に合わせたプリント作成
2. 講義の実施	<ul style="list-style-type: none">• 入国年度ごとにクラス分け• 全領域の講義の実施 (社会保障は時間をかける)
3. 模擬試験の実施	<ul style="list-style-type: none">• JICWELSの模試＋1回/月実施 (必修模試2回)• 試験結果の分析、苦手分野の抽出・可視化• 不正解の原因追究• 目標設定

候補者の学習指導

＜主な業務＞

4. 学習方法・ 環境の把握	<ul style="list-style-type: none">• 院内実習、普段の生活、ベトナムにいる家族の様子などの状況を確認• 学習に集中できる環境の確認
5. JICWELS 学習支援 の活用	<ul style="list-style-type: none">• 配布されたテキストや問題の活用• インターネット環境を整える• ライブ講義は専門的学習を受けられる機会として促す

国家試験対策

3回分の模擬試験の集計

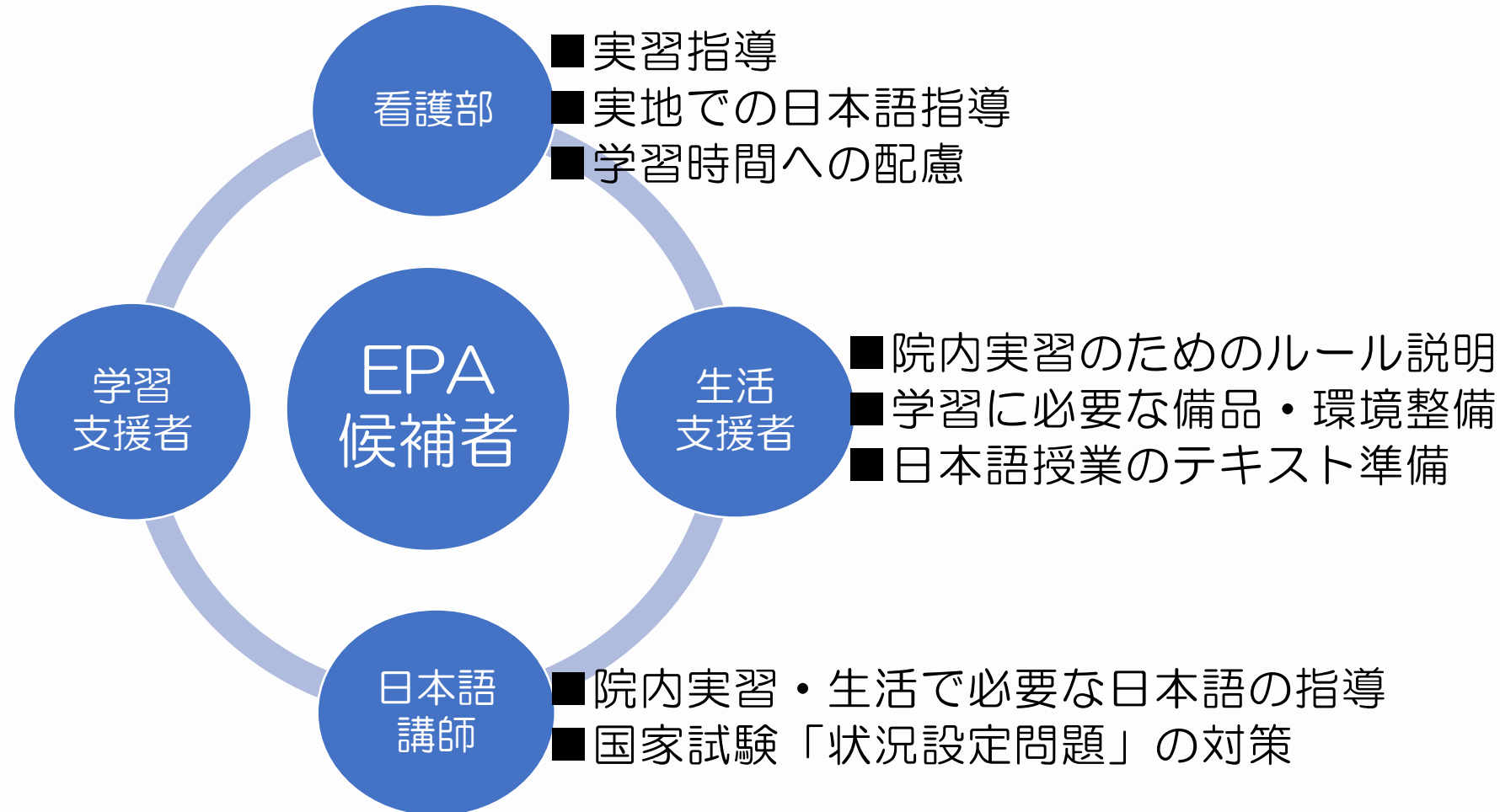
模擬試験名	結果/目標	必修問題	人体の構造と機能	疾病の成り立ちと回復の促進	健康支援と社会保険制度	基礎看護学	成人看護学(一般)	老年看護学(一般)	小児看護学(一般)	母性看護学(一般)	精神看護学(一般)	在宅看護論(一般)	看護の統合と実践(一般)	疾病の成り立ちと回復の促進	成人看護学(状況)	老年看護学(状況)	小児看護学(状況)	母性看護学(状況)	精神看護学(状況)	在宅看護論(状況)	看護の統合と実践(状況)	一般合計点	状況設定合計点	合計点	
学(リ)	問題数	50	12	12	12	20	22	12	9	9	9	9	4		12	9	9	9	9	6	6	1	2		
	正解数	42	5	6	5	7	12	4	5	6	5	7	3		4	2	6	5	6	3	5	130	120	250	
領域ごとの得意・不得意を分析																									
メディッ	正答率	72.0%	62.5%	62.8%	50.0%	43.8%	83.3%	72.7%	66.7%	66.7%	80.0%	100.0%	85.7%	69.2%	80.0%	80.0%	100.0%	90.0%	40.0%	60.0%	0.0%	83	45		
	得点	36	5	27	9	7	5	8	4	4	4	4	6	18	24	8	12	18	4	6	0	83	90	173	
	目標	50	83											90											
	1回目	問題数	50	12	12	10	20	19	12	9	9	9	9	9		12	9	9	9	9	6	6	1	2	
東アカ	正解数	40	6	6	5	11	14	7	5	5	6	4	3		8	6	7	4	6	4	4	130	120	250	
	正答率	80.0%	50.0%	50.0%	50.0%	55.0%	73.7%	58.3%	55.6%	55.6%	66.7%	44.4%	33.3%	#DIV/0!	66.7%	66.7%	77.8%	44.4%	66.7%	66.7%	66.7%	72	39		
	得点	40	6	6	5	11	14	7	5	5	6	4	3	0	16	12	14	8	12	8	8	72	78	150	
	1回目	問題数	50	72											78										
①-③結果			78.7%	51.4%	54.3%	47.2%	44.6%	70.5%	54.8%	59.3%	63.0%	67.4%	74.1%	64.7%	#DIV/0!	60.0%	56.3%	81.5%	63.3%	57.8%	58.9%	50.0%			
①-③結果		必修問題	人体の構造と機能	疾病の成り立ちと回復の促進	健康支援と社会保険制度	基礎看護学	成人看護学(一般)	老年看護学(一般)	小児看護学(一般)	母性看護学(一般)	精神看護学(一般)	在宅看護論(一般)	看護の統合と実践(一般)	疾病の成り立ちと回復の促進	成人看護学(状況)	老年看護学(状況)	小児看護学(状況)	母性看護学(状況)	精神看護学(状況)	在宅看護論(状況)	看護の統合と実践(状況)				

模擬試験の目標設定

今までの合格者の模試データを参照に目標点数を算出
 →どのようにすれば目標点数になるか考えることが大切。
 (自分の点数の経過を自分で見て考える)

2021年度 EPA看護師候補者 模擬試験目標				年候補者			国家試験受験回数		回目
《模擬試験スケジュール・模擬試験目標》				氏名					
月	日	主催業者	模試区分	目標点数/実際の点数			模試目標 (具体的に)	模試の反省点	支援者コメント *振り返り面談 (毎月)
				必修 (50点)	一般 (130点)	状況 (120点)			
4月	23日	東京アカデミー	第1回	/	/	/			
5月	28日	JICWELS (学研)	第1回	/	/	/			
6月	18日	メディックメディア	第1回	/	/	/			
6月	25日	東京アカデミー	専門基礎	/	/	/			
8月	6日	メディックメディア	必修	/	/	/			
9月	3日	JICWELS (学研)	第2回	/	/	/			
10月	8日	東京アカデミー	第2回	/	/	/			
11月	5日	JICWELS (学研)	第3回	/	/	/			
		メディックメディア	第2回	/	/	/			

その他の学習支援



2. 実習支援

■ 日本とベトナムの看護師の違いを理解してもらう。

< 業務の違い >

日本の看護師	診療の補助 と 療養上の世話
ベトナムの看護師	診療の補助 * 療養上の世話は家族が行う → 看護技術には経験があるが、 <u>療養上の世話に関しては初心者</u>

■ 病院・部署の特徴を理解してもらう。

<入職～部署配属まで>

EPA看護師候補者 入職



常磐病院の全部署を体験実習



本人・看護部の希望を調整



配属の決定・院内実習開始



EPA看護師候補者は「看護補助者」として実習

■実習の目的

●看護技術の実施、見学、振り返り

- ▶ 国家試験勉強
- ▶ 看護師業務の把握
- ▶ 看護補助業務の実施

●スタッフ、患者とのコミュニケーション

- ▶ 日本語能力の向上
- ▶ 方言の理解
- ▶ 人間関係の構築

合格後の人間関係に繋げる

スタッフにEPA候補者を身近に感じてもらう

日本語能力

学習中

文字を見ることで、内容を理解する。
音読は苦手だが、漢字を見て意味・内容が何となく分かる。カタカナは苦手

読解能力が必要

合格後

発言を聞いて、理解しないといけない。
(方言の問題・聞いた言葉をパソコンに入力しても変換できない)
例：ゆった→言った

聴解・会話力・記述力が必要

看護師ラダー教育に参加

〔1年目看護師〕

ナラティブレポートの発表会に参加

発表内容：

- 創傷ケアを通して患者との関係性構築
- 術後患者とのコミュニケーションの必要性
- コミュニケーションを恐れないこと
- 患者に寄り添う必要性の理解
- 日本人にとっての入浴の大切さ

看護師ラダー教育に参加

〔2年目看護師〕

ケーススタディの発表会に参加

内容：

- **重度難聴患者のコミュニケーション障害に対する援助**
選定理由：コミュニケーションが取れない患者の気持ち
が分かるから
- **透析導入患者の不安の理解**
選定理由：患者理解することで、ただ近くにいる外国人
ではなく、傍にいる外国人になって不安を
聞くことが出来る看護師になりたい

当院のEPA看護師とは

日本語能力が不十分であり、言葉の壁は大きい
患者に寄り添う気持ち・自分にできることを考え成長
したいと努力する姿がある。

その努力する姿を見ることで、スタッフの刺激になっ
ていると考える。

ご清聴ありがとうございました。